

平成28年度(第23回)職業訓練教材コンクールの総評

職業訓練教材コンクール審査委員長

1. はじめに

平成28年度(第23回)職業訓練教材コンクールは、「公共職業訓練又は認定職業訓練等において、訓練を担当する職業訓練指導員等が開発した教材のうち、その使用により訓練の実施効果が挙げられ、創意工夫にあふれ、広く関係者に普及するに足る優れたものを選定し、その成果をたたえ、周知することによって職業訓練指導員の技術水準の向上を図り、もって職業訓練の推進とその向上に資すること」を目的として、厚生労働省、中央職業能力開発協会、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の共催により行われました。

2. 応募の状況

今回の応募作品数は97点で、その内訳は、都道府県立職業能力開発施設12点、民間8点、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構立施設77点となり、前回(平成26年度)と比較して7点の増加となりました。

分野別では、機械加工・製図関係分野22点、電気・電子・情報関係分野45点、建築・木工・デザイン関係分野5点、産業機械・メカトロ関係分野6点、障害者関係分野10点、その他の分野9点となり、主要なものづくり分野を中心に幅広い分野で応募がありました。

3. 総評

平成28年度の職業訓練教材コンクールにつきましては、前回を超える97作品の応募があり、職業能力開発の充実に向けた関係者の積極的姿勢がうかがえる結果となりました。

また、訓練の効率化や訓練生の理解促進のための工夫をこらした作品が多くみられ、ご応募いただいた皆様の粘り強い試行錯誤と豊かな創意工夫の跡が感じられるとともに、職業能力開発に対する取り組みへの強い熱意が感じられました。

その中でも、今回厚生労働大臣賞特選を受賞した作品「地絡回路の再現と実践的絶縁抵抗測定支援ツール(チラクールとメガプラグ)」と「信号処理(SI)-反射と終端技術-」は、訓練生の習得度を高めるために職業能力開発現場での経験に基づき深く考えられた模擬環境を構築した教材です。分野は違いますが、誕生の経緯がよく似ており、どちらの教材からも高い訓練効果が得られると期待され、甲乙つけがたいとの判断から2作品ともに厚生労働大臣賞(特

選)に選定いたしました。

その他に入賞された作品はもちろん、惜しくも入賞を逃した作品にも高く評価できるものが数多くあり、全体的に今回の応募作品の教材としての完成度の高さを感じました。

その一方で、関連資料の不足や、訓練の対象となる技能・技術要素、指導・利用方法が不明瞭等、教材として未完成と感じられるもの、他者の著作権や既存の商標への配慮を必要とすると思われる訓練教材も、残念ながら、一部に見受けられました。

ご関係の皆様には、以上の点に留意され、今回の受賞作品を参考に、さらなる研鑽を積んでいただけたらありがたく存じます。

今回熱心に御応募いただきました皆様方にお礼を申し上げますとともに、次回以降の教材コンクールにおきましても、さらに多くの方々から作品を応募していただくことを期待し、総評とさせていただきます。

※著作権や商標については、下記を参考にしてください。

●[調査研究報告書138号](#)

[「教育訓練現場における知的財産権に関する調査研究－教材作成時に注意すべき著作権を中心として－」](#)

●[資料シリーズ16号](#)

[「教育訓練現場における知的財産権Q&A－著作権を中心として－（小冊子）」](#)

(基盤整備センターホームページからダウンロードしてください。)

<http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>